

伊木キッズニュース

令和4年10月号

No.198

コロナワクチンとインフルエンザワクチン

新型コロナの流行も、一旦収束の兆しです。子どものコロナワクチン接種が努力義務となり、11月からはインフルエンザワクチン接種も開始されます。

コロナワクチンは受けた方がよい？

子どもに対するコロナワクチンの接種件数が増えるにつれ、大人よりも副反応は少なめで、案外安心なワクチンであることが分かってきました。かたや、今回の7波での子どもの感染増はすさまじく、重症の熱性けいれんや脳症なども散見されるようになり、ごく希ながら死亡例も報告されています。社会全体が免疫を持って流行を抑える（集団免疫）ためにも、以前よりは積極的にワクチンを考慮してよいかもしれません。ただし、若年男性の心筋炎などの副反応には引き続き注意が必要です。

インフルエンザワクチンとの同時接種は？

ワクチンの同時接種自体は、効果などの面で問題なく、コロナワクチンでも認められるようになりました。しかし、コロナワクチンは自治体が予約を管轄し、インフルエンザワクチンは各医療機関に任せられるという現状では業務手順として同時接種が困難です。ただし、接種間隔は問われないため、同日接種や翌日接種は可能です。当院小児科でも、高岡市にコロナワクチンを予約された同日にインフルエンザワクチンを予約していただけますが、接種場所と時間は別となることをご了承下さい。

☆☆小児科医のつぶやき パート192 ☆☆

家族内にコロナ感染者が発生すると、もう、てんやわんや。飲み会に行ってもらってきってしまったパパ、家の一室に監禁され、ばい菌扱い。家族は濃厚接触者。ママは、パパの看病に加え子ども達の世話をすべて一人でこなさなくてはならず、てんてこ舞いでいらだちも募るばかり。日頃のうらみつらみまで一緒にたくなって、ちょっとした家族の危機！かたや、小さい子どもがかかると、隔離は不可能。家族内感染を防ぐよりも、「覚悟してください」と告げる日々でした。実際、一家全滅が多発しました。軽症になったとはいえ、その感染力は恐るべし。皆の気持ちがだんだん慣れて、インフルエンザと同じ感覚になるのを待つしかなさそうです (- -;;

